

それゆえ、私は言う。「私は待ち望む。主の恵みを。」実に、私たちは滅び失せなかつた。主のあわれみが尽きないからだ。それは朝ごとに新しい。

哀歌 3章 21～23節

2021年も最終の聖日を迎えました。今年もコロナ禍で過ごす一年でしたが、ここまで導かれたことを感謝します。

教会にとって集まるのが制限されるのは大きなダメージです。オンラインが大きな助けであることは間違いありません。しかし、それは本来の姿ではなくあくまでも補助的な手段です。仮想現実という言葉もありませんが、まさに仮の状態であつて、教会の交わりは聖餐を中心として一つ所に共に集まることに本来の姿があります。ですから、自由に集まらないことは教会にとって危機的な状況です。

これまでに経験したことのない困難にある私たちですが、それでも教会は支えられています。それは永遠に変わることはない御方が教会とそこに属する私たち一人ひとりを守り支えてくださっているからです。

「私たちは滅び失せなかつた。主の憐れみは尽きないからだ」(22)

罪人のために神の栄光を捨てて地上に來られるのちさえささげられた主は、今もその尽きない愛を私たちに注いでくださっているのです。この一年も私たちが知ると知らずとに関わらず主が守ってくださいたとを覚えて感謝をささげましょう。

そして迎える新しい年も、「朝ごとに新しく」注がれる恵みを受け取りながら進ませていただきたいと願います。そのためにはへりくだることと待ち望むことが必要です。へりくだるとは、自分の限界を認めて神様の助けを求めることです。また、自分の計画に固執するのではなく神様の計画に身を委ねることです。待ち望むとは、神様の助けが現わされる時や内容を神様にお任せし、主がしてくださることが最善であると信じてことです。そして、現わされる恵みを受け取ることです。

哀歌がうたわれた時、イスラエルの民はバビロン捕囚を経験しました。しかしその苦しみは神の民の信仰を新たにしました。主は私たちが裂いて包んでくださいます。主の恵みを受け取りましょう。(泰)

【クリスマス報告】

・クリスマス礼拝 第1礼拝と第2礼拝の2回行いました。第2礼拝では洗礼式を行い、一人の方が教会に加えられたことは大きな喜びです。久しぶりにお見えの教会員、新来者も多く出席されました。

《教勢報告》12月19日

第1礼拝32名 第2礼拝64名

内、新来者合計17名

・こどもクリスマス こども19名が参加。レギュラーメンバーに加えて、先日行った食品配布に來られた方が親子連れで來会するなど、新しい顔ぶれが多数ありました。

《参加者》こども19名(幼4、小12、中3)その内新来者は11名。保護者8名(内、新5)。スタッフ・教会員22名。総勢49名

・クリスマスイヴ燭火礼拝 聖書朗読とクリスマスキャロルでクリスマス夜の夜と共に過ごしました。寒い夜という事で来会は控えるけれども時間を合わせてオンラインで加わりますという声も多数聞かれました。礼拝堂には新しい方や久しぶりに顔を見せてくださった方もあり感謝でした。

《出席者》35名(子1名含)

その内教会員外12名

【報告 消息】

【1月の礼拝予定】

2日	荻野牧師	マタイ18章
9日	荻野牧師	マタイ19章
16日	荻野牧師	マタイ20章
	聖餐式	
23日	荻野牧師	マタイ21章
30日	田中英牧師	

※9日は「成人の祝福」を祈ります。
今回は成人者が多数います。共に祝い、祝福を祈りましょう。